

令和5年度
みえ農業スタートアップ支援事業
農業ビジネスプラン（農地探索タイプ）
提案者向けご案内資料



公益財団法人三重県農林水産支援センター

目次

みえ農業スタートアップ支援事業

- ▶ 1. 事業の趣旨
- ▶ 2. 事業スキーム
- ▶ 3. 事業への参加のメリット
- ▶ 4. 事業のスケジュール
- ▶ 5. 参加条件、費用、コスト
- ▶ 6. 公募要領、公募スケジュール、審査方法

1. 事業の趣旨

近年の感染症の拡大や、国際情勢の先行きの不透明感が増すなかで、国内の食料生産、とりわけ国の規制緩和が進み企業等の参入が進むなど、成長産業としての期待もある農業への関心が高まっています。

一方で、企業等が新たに農業に参入するうえで、大きな課題の一つに農地の確保策があり、企業等の農業参入が進まない要因となっています。また、農業に関わる人材が不足している地域や遊休農地の解消に苦慮している地域では、企業や移住者等の参入が農業の重要な受け皿になると期待されています。

そこで、三重県内で実現したい農業ビジネスプランを公募し、実現可能性が高い提案に対して、支援センターが市町等関係機関と協力して必要な農地を探し借り入れ支援を行うとともに、県や支援機関と連携して技術、経営支援等を総合的に実施します。

提案のあった農業ビジネスプランについては、農業ビジネスプランコンテストにより実現可能性を審査したうえで、実現可能なプランを選定し関係機関が連携して支援することで、企業、農業法人、移住者等の農業参入を容易にし、地域の農地が継続して活用されていくことを目的に「みえ農業スタートアップ支援事業」を実施します。

2. 事業スキーム

農業参入を目指す企業・農業法人・移住者など

三重県内での
農業ビジネスプランを提案

農業ビジネスプラン
コンテスト

三重県農林水産支援センター
〈農地中間管理機構〉

市町

希望する条件の農地を
探索・貸付

実現可能性のある
農業ビジネスプラン

支援策

プラン実現支援チーム
国・県・市町、研究機関、
支援機関、支援企業等

パートナー企業
ビジネス化を支援する
パートナー企業との
マッチング機会の提供

農業
ビジネス
プランの
実現



3. 事業への参加のメリット

提案に適する農地を
支援センターと市町が
協力して探索

- 実現可能性の高いプランに必要な農地を、支援センターと市町が協力して探索し、提案者による貸借の支援を行います。
- 農地中間管理事業を活用することで、農地の貸付契約や賃借料の支払事務は、支援センターが行います。

各種補助事業、技術支援、
経営・資金相談など

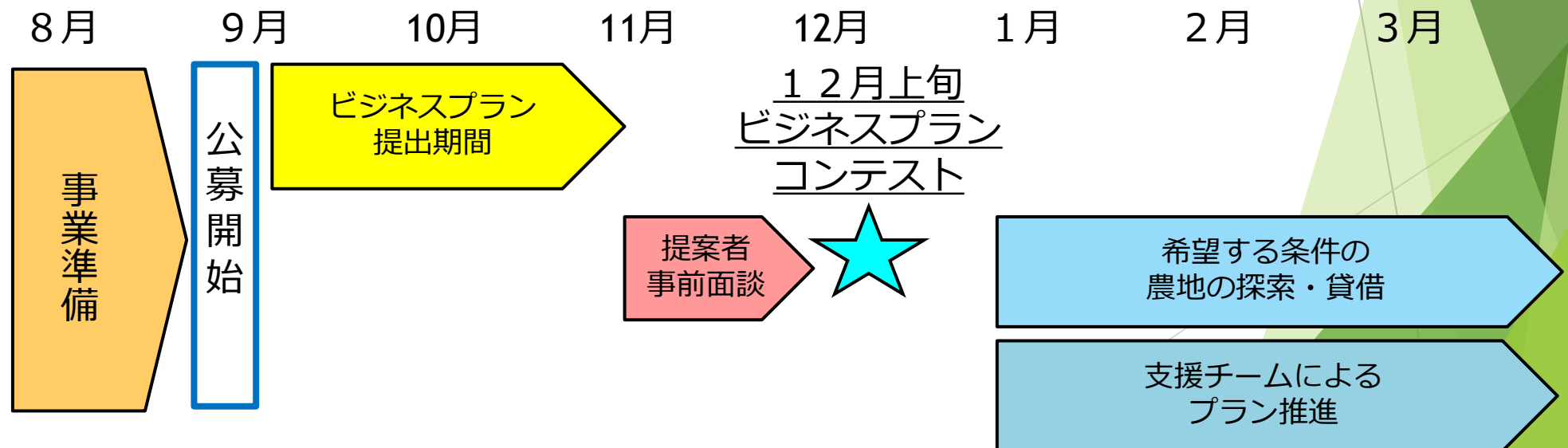
- 行政等関係機関が連携して補助事業や経営等の相談にあたります。
- 農業研究所、農業改良普及センター等と連携して、農業技術相談にあたります。
- 金融機関と連携して資金相談等にあたります。

事業発展に向けての
パートナー企業等

- 県内の特徴的な農業経営体や異業種企業等とのネットワーク構築を支援します。
- 経営発展を目指すうえで資本参加や業務提携等につなげるパートナー企業等とのマッチングを行います。

4. 事業のスケジュール

- ◆ 令和5年9月1日：農業ビジネスプラン（農地探索タイプ）提案公募開始
- ◆ 令和5年9月1日～10月31日：農業ビジネスプラン（農地探索タイプ）提案書の応募期間
- ◆ 令和5年11月初～11月末：提案者事前面談
- ◆ 令和5年12月上旬：ビジネスプランコンテスト実施（三重県開催、東京・大阪にサテライト会場）
- ◆ 令和6年1月～：農地の探索、技術・経営支援等調整など
- ◆ 令和6年1月～：支援チームによる事業化支援



5. 参加条件、費用、コスト

■ 参加条件

農地中管理事業の契約年数（10年以上）にわたり、継続的に農業ビジネスが実施できるプランを提案すること。

提案者の経歴、会社の場合は会社概要、農業に関する過去の実績、農業ビジネスを提案しようとする動機などを明らかにすること。

参入地域と協調性をもって接すること。

農業ビジネスを実施するにあたり、担当者等を当該町内に配置するなど善良な管理をすること。

太陽光発電での売電が含まれるプランではないこと。

※上記の条件を満たす者であれば、法人・個人、経営規模、品目等は問いません。

5. 参加条件、費用、コスト

■ 費用・コスト

参加無料とします。
ただし、以下の点についてご了承ください。

現地説明会、ビジネスプランコンテスト等へ参加するために発生する交通費、通信費や、農業ビジネスプラン提案に関して発生する必要な費用については、ご負担ください。

6. 公募要領、公募スケジュール、審査方法

■ 公募要領

- 事務局からのプレスリリース、支援センターHP上で開示します。

■ 公募スケジュール

ビジネスプラン提案書の提出：令和5年9月1日（金）～令和5年10月31日（火）

提案者事前面談：令和5年11月6日（月）～11月下旬

コンテストの実施：令和5年12月上旬（日程は別途公表）

実現可能プランの選定：令和5年12月中旬～下旬

※提案者事前面談の際、応募内容について事務局からヒアリングを行う場合があります。

7. 公募要領、公募スケジュール、審査方法

■ 審査方法

応募いただいた内容をもとに、コンテストにより実現可能プランを選定します。
審査において、以下のことを中心にお聞きします。

○ (ビジョン、目的)

ビジネスプランのビジョンが明確であり、10年先を見据えた明確な内容となっているか。また、目的は妥当か。

○ (生産技術、ノウハウ)

栽培方法などの生産技術や経営などのノウハウがあるか。また、農地の現状や周辺環境を踏まえた内容となっているか。

○ (販売手段、資金計画)

販売手段があるか、また資金計画は妥当かつ明確な根拠のもとに立てられているか。

○ (実施体制)

農地を有効に活用できる視点に富み、ビジネスプランを実現できる体制があるか。

○ (地域との協調性)

地域（地権者を含む）に受け入れられるプラン内容となっているか。また、地域とのコミュニケーションや共同作業等に意欲的か。

<お問い合わせ先>

- 公益財団法人三重県農林水産支援センター農地中間管理課（濱口、真弓）
TEL：0598-48-1228 / FAX：0598-42-8221
E-mail：nouchi@aff-shien-mie.or.jp
HP：<https://nouchi-mie.jp/>



支援センターHP
のQRコード